

2年間の「マイ防災プラン作成研修」の成果報告会を実施しました！

日 時：2019年10月21日（月）10:30～12:00

場 所：摂南大学11号館 11階 スカイラウンジ

参加者：2018年度研修参加者、2019年度研修参加者、その他関係者（計23名）

ファシリテーター：建築学科生9名＋大学院生1名＋教員1名（計11名）

今回の見どころ

摂南大学理工学部建築防災研究室では、2018年度と2019年度に「マイ防災プラン作成研修」を実施しました。この研修は、「障がいをもつ方々には各々に見合った災害対策が必要ではないか」との発想から、寝屋川市社会福祉協議会と寝屋川市の障がい者団体と連携して実施した研修です。またこの研修には、地域支援者として地域の民生委員や福祉委員の方にもご参加いただきました。この報告会は、2年間の研修の成果を発表する場として企画し、特に、障がい種別による防災対策の違いを明らかにすることを目的としています。さて、どのような内容になったのでしょうか！

プログラム実施風景



寝屋川市の障がい者団体に所属する方や地域支援者が一堂に会する報告会となりました。



時折、参加者に問い掛けながら、「マイ防災プラン作成研修」の結果についての報告しました。



振り返りシートへの記入では、皆さん熱心に記入されていました。



参加者の方から意見も飛び交い、災害時の防災対策の違いについて、真剣に考えておられることがわかりました。



寝屋川市社会福祉協議会からも、この2年間の活動成果を報告されました。



会場後方では、防災グッズを展示しました。特に、災害用バッテリーについて興味津々の様子でした。

プログラムの実施結果

私は、報告者である先輩の発表を聞き「カッコいい」と思いました。はじめ、「研修成果報告会」と聞いた時、参加者へ一方的に説明にするイメージでとらえていたのですが、先輩の発表は、参加者からも積極的な発言を促すなど工夫されており、これまで地域の方や寝屋川市社会福祉協議会さんと力を合わせて取り組んできた研修がベースになっているのがよくわかりました。また、「この報告会を良いものにしたい」との参加者共通の思いも感じることができ、お互いがお互いを補助しあうような関係であると思いました。私が携わる次の研修も、先輩の研修のように、会場にいる全員が一体となるような取り組みにしたいと思います。そのためには、相手に寄り添うことを忘れず、一人よがりにならないよう気を付けていきたいです。

今回のプログラム実施にあたり、プログラムに参加して頂いた寝屋川市の皆様、寝屋川市社会福祉協議会の皆様に、心より感謝申し上げます。